

# 宮里老人クラブ新聞 みやわし

第3号

会長：宮城武松  
題字：喜屋武磯江  
広報：山下博實

## おばあちゃんたち すごい！

### 宮里小学校クラブ活動で

### うちなーぐちとお手玉の指導

七年前から、宮里小学校のクラブ活動で「うちなーぐちクラブ」の指導を宮里老人会の新屋千代子さんを中心に宮里老人クラブの皆さんががんばっています。

今年も、七月十五日、塩川初江さん、仲宗日に喜屋武磯江さん、根明美さん（香村定



おばあたちの芸に見入る児童(宮里小)

きょうのひと笑い (ネットより)  
わらいは健康のもと。  
くすりと笑って今日も元気。  
まだまだ寝てる 帰ってみればもう寝てる  
寝起きたけど 寝るまで特に 用も無し  
寝立ち上がり 用事忘れてまた座り



男さんの娘)の三人が、「もも太郎」の話  
を本部・宮古・中部のしまくとうばで子ども達に聞かせ、同じ  
沖縄でも言葉に違いがあることを伝えま  
した。子ども達は、しまくとうばの言いま  
わしに大笑いしたり驚いたりでした。  
そのあと、お手玉で2個ゆりや3個ゆりをして見せたら  
「おばあちゃん達すごい！」「大道芸人みたい！」と大騒ぎでした。わったーや、老人やていん、まだまだ出番がありますよ！

(新屋千代子)

## ごくろうさま 知名定政さん

### 十年にわたり手入れして来た

### 宮里小壁面が！



知名さんが手入れして来た道路壁面 (宮里小バス停前)

宮里老人クラブ会員の知名定政さんは、二〇一〇年頃から宮里小学校のサンエー側壁面に花を植えるはじめ、仕事の合間、休むことなく苦勞を重ね、花いっぱい  
の通路路を作って来られました。ところが最近体調をくずし、残念なことに重労働を控えることになりました。

宮里老人クラブ会員の植樹は、朝夕通学する子供達ばかりか、通りを往来する人や車を運転する人々が、どれほど癒されたことでしょうか。  
この度三一号線が沖縄市の道路整備の対象になり、宮里小通りも樹木の伐採がはじまり、小学校壁面の花や樹木も植え替えられることになりました。

花木がなくなり殺風景になりましたが、また近いうちに花いっぱい風の景がかえってくることでしよう。  
知名さんのこれまでのお仕事に感謝の気持ちをいっぱい込めて、拍手をおくりたいと思います！

(新屋千代子)

# クリーンで心休まる公園に

コロナ禍最中の七月九日と一九日、宮里公園、宮里第二公園で、宮里老人クラブみやわし会のメンバーが公園の草刈り清掃を行いました。



動力ガマを操作する人たち（第二公園）



ピフォー・アフター（宮里公園）

沖縄のていーだは一年中、芝生にも樹木にも優しい。芝は瞬く間に三〇センチほどにも伸びます。樹々は絶えず芽吹き、大量の葉を落とし、まるでじゅうたんのよう。

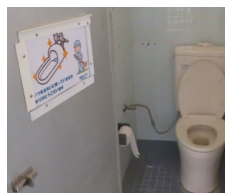
今回の掃除には十名ほどの方が集まりました。五台の動力ガマが伸びきった芝を刈り、くま手で芝や分厚い落ち葉をかき集めます。炎天下の中、二〜三時間の奮闘。公園は見違えるほどに広くきれいになりました。トイレには美化のポスターをまりました。



ユンタク風景（宮里公園）

それぞれの公園の清掃は週に二、二回定期的な曜日を決めて行っています。地域の皆さんにとつていつまでも心休まる憩いの公園、広場であり続けてほしいと願います。

（山下博寛）



クリーン・トイレポスター（第二公園）

老人クラブに入会して一緒に楽しみませんか！自分の住み慣れた地域の仲間たちと、シニア同志の和やかな活動に参加しませんか？新しい出会いを通じて、多くの人々との交流を深めて、一緒に楽しみながら生きがいさがしをやりましょう。

**○入会の方法**  
宮里自治会に直接申し込みください。  
電話九三八一・四八二一

## 交流には対話が必要 山城正夫

毎週二回、二つの公園の草刈り、清掃をしている。その後、晴天時には九時から十時三十分ごろまでゲートボールやグラウンドゴルフを楽しく和気あいあいと行っている。

活動終了後、東屋のテーブルを囲み、女性の方々の手作りの天ぷら、そうめんちゃんぷる、あえものなどを食し、コーヒーやお茶を飲みながらユンタクし、世間話に花を咲かせ、満面笑みを浮かべ、大いに喜び、大いに笑っている。

心豊に人生を楽しむには人々の交流が大切で、交流には対話が必要である。対話によって自分の考えを相手に伝え、相手の人柄や考えを知ることができ、互いに思いやりや気遣いの心が芽生え、何事にも協力し合って楽しく活動することはできるのではなからうか。

むろん、感染防止対策を行っている。

（広報：山下）

## あとがき

▼新型コロナウィルスはここ沖縄市にも多大な影響を与え、いまだに衰えを知りません▼老人クラブの行事は蜜を伴うため、避けざるを得ない。その困難の中で老人クラブみやわし会は活動を維持してききました▼定例会役員会は、換気性抜群の公園の東屋で、参加者は全員マスク着用で互いの距離を保って会議に臨みます▼家業で多忙ながらも快く時間を割いてくれる宮城武松会長、いつも献身的に動く喜屋武磯江副会長、上江洲安輝副会長、会員の具志堅盛雄氏は毎回の検温消毒を提案し、それがいつしか習慣になりました。会のまとまりの強さを感じます▼苦難は、知恵を出し合い協力し合ってよりよい社会へ変えていくチャンスだと捉え、と、世界の見方もおのずと変わっていきまします。▼多くの楽しい行事に参加できる日が来るまで、コロナに負けないように頑張ります。